

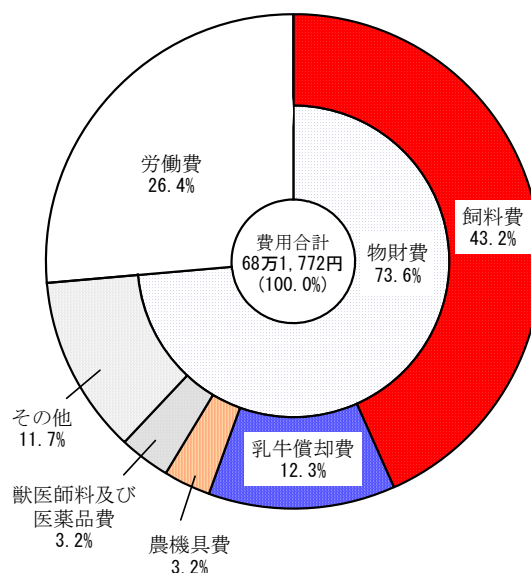
# I 調査結果の概要



## 1 牛乳生産費

- (1) 平成17年の搾乳牛1頭当たり(以下「搾乳牛1頭当たり」という。)の資本利子・地代全額算入生産費(以下「全算入生産費」という。)は66万3,528円で、前年に比べ1.7%増加し、生乳100kg当たり(乳脂肪分3.5%換算)全算入生産費は7,290円で、前年に比べ0.6%増加した。
- (2) 搾乳牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、飼料価格の上昇から飼料費が増加したことなどによる。
- (3) 搾乳牛1頭当たり粗収益は74万972円で、子牛価格の上昇により副産物価額が増加したことから前年に比べ0.3%増加したものの、搾乳牛1頭当たり所得は21万6,468円で、飼料費が増加したことなどにより前年に比べ4.9%減少した。

図1 主要費目の構成割合  
(搾乳牛1頭当たり)



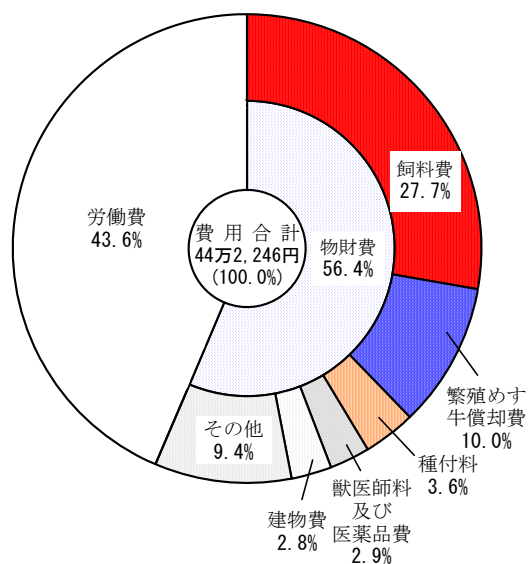
第1表 牛乳の生産費及び収益性

区 分		搾乳牛1頭当たり		乳脂肪分3.5%換算乳量100kg当たり	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	円	%	円	%
	502 089	2.9	5 516	1.7	
	労 働 費	179 683	△ 1.0	1 975	△ 2.1
	費 用 合 計	681 772	1.8	7 491	0.6
	生産費(副産物価額差引)	617 433	1.5	6 784	0.4
	支払利子・地代算入生産費	628 625	1.4	6 907	0.2
資本利子・地代全額算入生産費	663 528	1.7	7 290	0.6	
収 益 性	粗 収 益	740 972	0.3	-	-
	所 得	216 468	△ 4.9	-	-

## 2 子牛生産費

- (1) 繁殖めす牛を飼養し、肉専用種の子牛を販売する経営における平成17年の子牛1頭当たり全算入生産費は46万3,331円で、前年に比べて1.3%増加した。
- (2) 子牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、配合飼料価格が上昇したことから流通飼料費が増加したことなどによる。
- (3) 繁殖めす牛1頭当たり粗収益は47万9,950円で、子牛市場価格が上昇したことにより前年に比べ9.9%増加し、1頭当たり所得は22万515円で、前年に比べ21.9%増加した。

図2 主要費目の構成割合  
(子牛1頭当たり)



第2表 子牛の生産費及び収益性

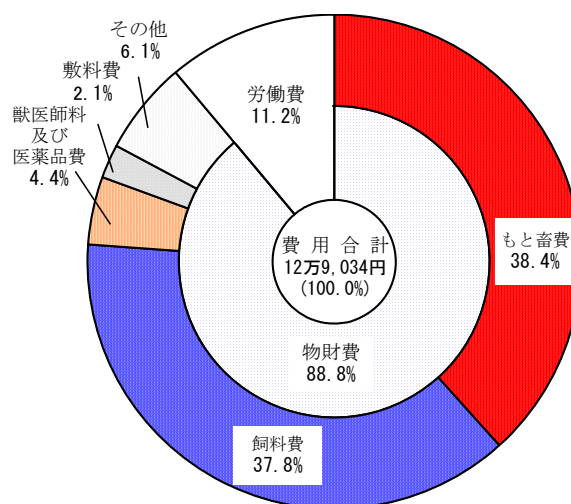
区 分		実 数	対 前 年 増 減 率
		円	%
生 産 費	子牛1頭当たり		
	物 財 費	249 507	0.7
	労 働 費	192 739	△ 0.2
	費 用 合 計	442 246	0.3
	生産費(副産物価額差引)	400 052	0.8
	支払利子・地代算入生産費	406 090	0.7
費	資本利子・地代全額算入生産費	463 331	1.3
	繁殖めす牛1頭当たり		
収 益 性	粗 収 益	479 950	9.9
	所 得	220 515	21.9

注：粗収益及び所得には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

### 3 乳用おす育成牛生産費

- (1) 乳用種のおす子牛を育成し販売する経営における平成17年の乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費は12万9,760円で、前年に比べ2.8%増加した。
- (2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成15年10月～16年9月）におけるもと牛価格が上昇し、もと畜費が増加したことなどによる。
- (3) 1頭当たり粗収益は7万5,716円で、乳用子牛市場価格が大幅に上昇したことにより前年に比べ30.3%増加した。

図3 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第3表 乳用おす育成牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		
	実数	対前年増減率	
	円	%	
生産費	物財費	114 520	3.1
	労働費	14 514	1.3
	費用合計	129 034	2.9
	生産費(副産物価額差引)	125 967	2.5
	支払利子・地代算入生産費	127 312	2.7
	資本利子・地代全額算入生産費	129 760	2.8
収益性	粗収益	75 716	30.3
	所得	△ 41 022	(△ 54 599)

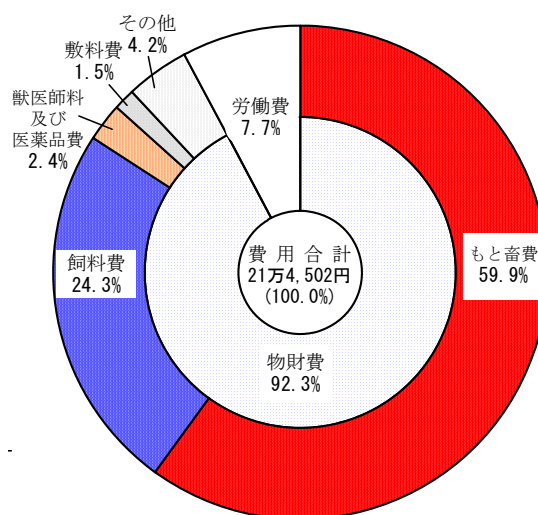
注：1 粗収益及び所得には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

2 対前年増減率における( )内の数値は、前年値である。

#### 4 交雑種育成牛生産費

- (1) 交雑種の子牛を育成し販売する経営における平成17年の交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は21万5,661円で、前年に比べ2.3%増加した。
- (2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成15年9月～16年8月）におけるもと牛価格が上昇し、もと畜費が増加したことなどによる。
- (3) 1頭当たり粗収益は23万5,306円で、交雑種子牛市場価格が上昇したことにより前年に比べ10.3%増加し、1頭当たり所得は3万3,051円で、前年に比べ121.1%増加した。

図4 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第4表 交雑種育成牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り	
		実 数	対 前 年 増 減 率
		円	%
生 産 費	物 財 費	198 071	2.1
	労 働 費	16 431	5.7
	費 用 合 計	214 502	2.4
	生産費（副産物価額差引）	211 589	2.2
	支払利子・地代算入生産費	213 063	2.3
	資本利子・地代全額算入生産費	215 661	2.3
収 益 性	粗 収 益	235 306	10.3
	所 得	33 051	121.1

注：粗収益及び所得には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

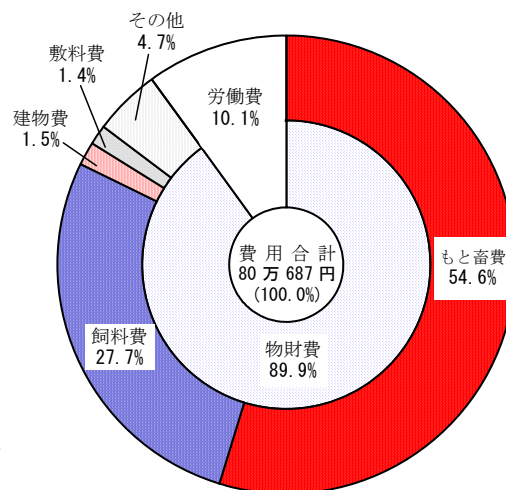
## 5 去勢若齢肥育牛生産費

(1) 肉専用種の去勢若齢和牛を肥育し、販売する経営における平成17年の去勢若齢肥育牛1頭当たり全算入生産費は80万9,511円で、前年に比べ12.1%増加した。

(2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成14年8月～15年7月）におけるもと牛価格が上昇し、もと畜費が増加したことなどによる。

(3) 1頭当たり粗収益は88万5,545円で、和牛市場価格が上昇したことにより前年に比べ10.0%増加し、1頭当たり所得は14万8,296円となった。

図5 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第5表 去勢若齢肥育牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り		生 体 100kg 当 た り	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	719 836	13.8	100 955	12.9
	労 働 費	80 851	0.9	11 339	0.1
	費用合計	800 687	12.3	112 294	11.5
	生産費（副産物価額差引）	782 628	12.6	109 761	11.7
	支払利子・地代算入生産費	795 977	12.4	111 633	11.5
	資本利子・地代全額算入生産費	809 511	12.1	113 531	11.3
	粗 収 益	885 545	10.0	-	-
収 益 性	所 得	148 296	△ 3.8	-	-

注：粗収益及び所得には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

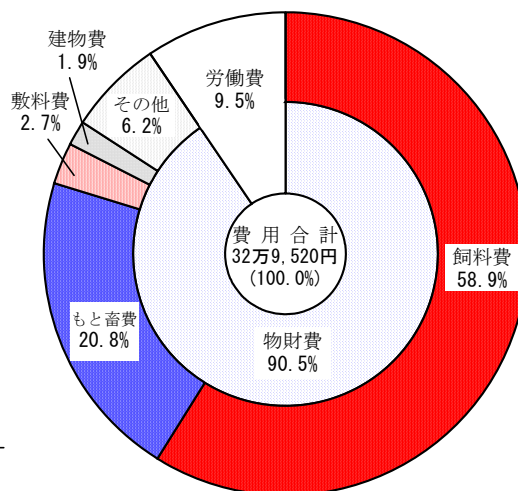
## 6 乳用おす肥育牛生産費

(1) 乳用種のおす牛を肥育し販売する経営における平成17年の乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費は33万2,277円で、前年に比べ1.7%減少した。

(2) 1頭当たり全算入生産費が減少したのは、もと牛導入時期（主に平成15年1月～15年12月）におけるもと牛価格が下落しもと畜費が減少したことなどによる。

(3) 1頭当たり粗収益は36万2,148円で、乳用種市場価格が大幅に上昇したことにより前年に比べ29.0%増加し、1頭当たり所得は5万7,178円となった。

図6 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第6表 乳用おす肥育牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り		生 体 100kg 当 た り	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	298 361	△ 0.2	39 174	△ 2.3
	労 働 費	31 159	△ 7.4	4 092	△ 9.3
	費 用 合 計	329 520	△ 1.0	43 266	△ 3.0
	生産費（副産物価額差引）	320 449	△ 1.6	42 075	△ 3.6
	支払利子・地代算入生産費	325 430	△ 1.5	42 729	△ 3.5
	資本利子・地代全額算入生産費	332 277	△ 1.7	43 628	△ 3.7
収 益 性	粗 収 益	362 148	29.0	-	-
	所 得	57 178	(△25 304)	-	-

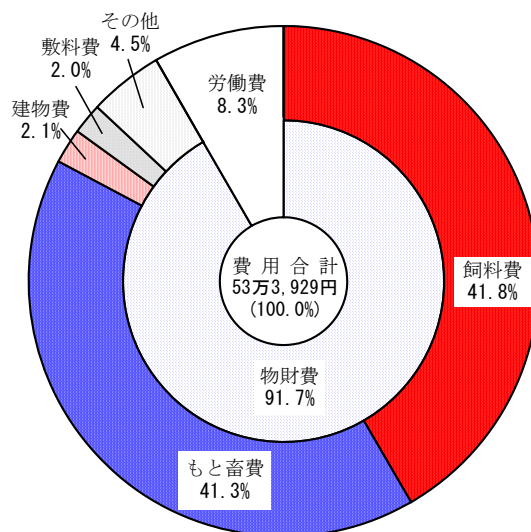
注：1 粗収益及び所得には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

2 対前年増減率における（）内の数値は、前年値である。

## 7 交雑種肥育牛生産費

- (1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成17年の交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は54万4,446円で、前年に比べ15.8%増加した。
- (2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成14年9月～15年8月）におけるもと牛価格が上昇し、もと畜費が増加したことなどによる。
- (3) 1頭当たり粗収益は59万1,151円で、交雑種市場価格が上昇したことにより前年に比べ19.2%増加し、1頭当たり所得は9万2,190円となった。

図7 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	489,544円	17.7%	67,091円	15.3%
	労働費	44,385円	3.0%	6,083円	0.9%
	費用合計	533,929円	16.3%	73,174円	14.0%
	生産費(副産物価額差引)	525,656円	16.9%	72,040円	14.6%
	支払利子・地代算入生産費	532,585円	16.0%	72,990円	13.6%
	資本利子・地代全額算入生産費	544,446円	15.8%	74,615円	13.5%
収益性	粗収益	591,151円	19.2%	-	-
	所得	92,190円	35.5%	-	-

注：粗収益及び所得には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。



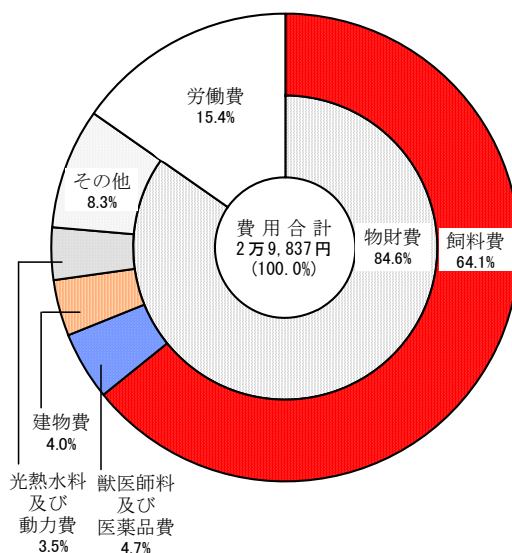
## 8 肥育豚生産費

(1) 平成17年の肥育豚1頭当たり全算入生産費は2万9,943円で、前年に比べ2.3%増加し、生体100kg当たり全算入生産費は2万6,942円で、前年に比べ2.8%増加した。

(2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、配合飼料価格の上昇から飼料費が増加したことなどによる。

(3) 1頭当たり粗収益は3万1,198円で、肉豚市場価格が上昇したことにより、前年に比べ7.3%増加し、1頭当たり所得は5,085円で前年に比べ32.1%増加した。

図8 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第8表 肥育豚の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り		生 体 100kg 当 た り	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	25 256	3.3	22 725	3.8
	勞 働 費	4 581	△ 1.2	4 121	△ 0.8
	費 用 合 計	29 837	2.6	26 846	3.1
	生産費(副産物価額差引)	29 071	2.7	26 156	3.2
	支払利子・地代算入生産費	29 263	2.7	26 330	3.2
	資本利子・地代全額算入生産費	29 943	2.3	26 942	2.8
収 益 性	粗 収 益	31 198	7.3	-	-
	所 得	5 085	32.1	-	-